

第 41 回データ保護プライバシー・コミッショナー国際会議 出張報告

令和元年 11 月 18 日
個人情報保護委員会

令和元年 10 月 20 日（日）から同 25 日（金）まで、アルバニア（ティラナ）において開催された第 41 回データ保護プライバシー・コミッショナー国際会議（以下「本会議」という。）に、大島専門委員等が参加した。

データ保護機関のみが参加するクローズドセッションにおいては、本会議の将来に関する議論が行われ、新たな名称（GPA : Global Privacy Assembly）とロゴ及び本会議に対する助言のための外部機関の創設が決定されるとともに、令和 3 年までの戦略計画等の決議が採択された。また、大島専門委員が「地域/言語/トピック固有のネットワークからのアップデート」というセッションにおいて、本年 5 月に APPA フォーラムを主催した経験を踏まえ、APPA を代表して地域ネットワークとしての APPA の活動を紹介した。

データ保護機関に加え有識者や民間企業等も参加するオープンセッションにおいて、山地専門委員がパネル 1 「データ保護法におけるグローバル・コンバージェンス」にパネリストとして登壇し、当委員会における信頼性の確保された自由な個人データの流通に係る枠組みの構築に向けた取組等を紹介するとともに、議論に参加した。また、米国商工会議所等の主催するサイドイベント「架け橋の構築」において、同イベントにおける議論の総括を含む閉会挨拶を行った。

なお、次回（第 42 回）はメキシコ、次々回は（第 43 回）はニュージーランドで行われる。